

安長寺で新年のお祝い

毎年、新年を祝うために年越しの夜は安長寺に行きます。安長寺は、入口に飾られている子どもの顔が描かれた二つのバタバタが分かりやすい目印になっている、シンプルな造りのお寺です。聞いたところによると、子どもの病気や乳幼児の死亡が多かった時代から、子どもたちの健康を祈願するために参拝されているそうです。

朝倉に来てから、安長寺での新年のお祝いを欠かしたことはありません。この場所には精神性があります！紫と金の服を着た住職の声は、とても穏やかで平和な気持ちにさせてくれます！お寺の塔の上で鐘を鳴らしながら、住職が新年の祈りを捧げるのを聞くのが大好きです。周囲では、人々が手を合わせ、厳粛に耳を傾けているのが見えます。私も同じように、いろいろな願いを込めて黙祷します。



このような神聖な場所に身を置くと、本質的なことを思い出すことができます。禁欲と深い哲学で知られる仏教寺院にいと、心の平和、心身の健康、過分のない個人的な満足、活発な生活の流れに押されて物質的な豊かさを追求するあまり、誰もが感謝を忘れてしまうようなことの全てを、より強く願うようになるのです。

新しい年、私はすべての人が自分らしさと、シンプルな喜びに対する比類なき感覚を再発見することを祈ります。

